

比内支援学校 タブレット型端末 (iPad) 授業活用事例  
 中学部の実践

○事例 2



中学部 2 年 国語・数学 (語彙の獲得)

○実態

2 語文程度の簡単な言葉で会話ができる。自由に絵や文字を書くことを好む。平仮名や身近な漢字など読める文字を増やすとともに語彙やコミュニケーション力を付けたい。

○使用機器 iPad mini 2

○アプリ

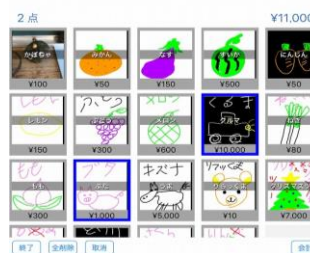
|  |  |
|--|--|
|   | <p>「お絵かき」は、ペンや筆など様々な形状の線や色を組み合わせる自由な画面上に絵を描いたり、文字を書いたりできるアプリである。画面上のデザインは、写真として保存可能である。</p>              |
|  | <p>「即売レジ」は、会計用のレジアプリである。事前に品物情報 (画像、金額、個数) を登録しておく、買い物リストに追加される。個数を登録しておく、購入ごとに残数が減り、完売した品物は選択不可となる。</p> |

○活用の目的

絵と文字を書くことに言葉のやり取りを加えることで、楽しみながら語彙の獲得ができる。また、画像として記録したデータを即売レジに取り入れることで、お金の学習につなげることができる。



「お絵かき」で作った画像 ↑



「即売レジ」に取り込んで活用 ↑

○メリット

- ・楽しみながら繰り返し学習することで、ものの名前を間違わないで読んだり書いたりできるようになってきた。
- ・自分の書いたものが教材となるため国語や数学への期待感も高く、意欲的に授業に参加できるようになった。

●デメリット

- ・日常生活に結びつけていくために子どもの実態に応じた内容を取り扱うこと、デジタルから具体物进行操作したりやり取りへと段階的に移行していく必要がある。